

こんにちは 宮教組です

第10号
2015年
2月20日(金)
発行：宮教組



宮教組 022 - 234 - 0141
miyakyoso@mtu.or.jp
※職場で増し刷り・回覧を
2枚組(表・裏)

不登校対策 県教委, “多忙化” 必至の対策マニュアル作成!?

2月5日に開かれた県教委の不登校対策推進協議会で、県教委が画一的な指導を現場に求める“マニュアル”を3月末に現場に下ろすことが明らかになりました。出席した複数の委員からも「これでは現場がますます多忙になるのではないか」「人の配置が必要ではないか」という懸念の声上がるほどの細かな内容です。

2月19日の多忙交渉で県教委は「強制ではない。参考例として活用してほしい」と説明しましたが、マニュアルどおりの指導を行えば新たな多忙化を生むことは必至です。

宮教組は画一的な指導を現場に押し付けないよう強く求めました。今後も要請をしていく方針です。

【中1不登校にさせない初期対応 未然防止の取組】

(県教委) 概要

- ◆欠席1日目～すぐに電話。
- 2日目～電話連絡もしくは手紙を書く。3日目～個人ファイル作成。支援チーム結成。チーム会議開催。連続7日目～不登校対策委員会の開催。
- ◆小中連携の強化。◆不登校担当教員の配置 など

「要録」コピーに 押印は不要です

業務量削減を!

宮教組は2013年の11月に、県教委と以下のことを確認しています。

■小学校から中学校、中学校から高校に上げる「要録」コピー1枚1枚に「原本と相違ない」の印を押す必要はない。鑑に押せばよい。

未だに1枚1枚に押している学校があるようですが、多忙解消のため事務作業を減らしましょう。

「人事110番」開設中!

※人事異動は「納得と合意」が原則です。これは組合と県教委・仙台市教委とが確認してきたことです。

内々示は3月6日に予定されていますが、人事はすでにおおよそ固まっています。希望と異なる場合は、本人に丁寧に話すことになっています。しかし、毎年、組合への相談が後を絶ちません。昨年も、留任希望者が校長から異動を勧められ、異動後まもなく「不本意異動」が原因で退職せざるを得なかったという事例もありました。

校長から話がない場合、内々示前に確認をすることが大事です。希望と違う場合はすぐ組合に相談を。

仙台市で「検診器具」 滅菌の業者委託実現へ!

耳鼻科検診や歯科検診で使用する検診器具は、県内ほとんどの地域、学校で「煮沸消毒」という前近代的な方法で実施されています。仙教組は、交渉で「子どもたちの健康を守る健康診断で感染症にかかることはあってはならない。費用対効果を考えても検診器具の滅菌は急務」と訴えてきましたが、その要求が実り、来年度から仙台市内全校で業者委託が実現します。費用は637万円。

「煮沸消毒に費やしていた時間を子どもと向き合う時間に充てられる」と現場の養護教諭から喜びの声がたくさん上がっています。

仙台支部
(仙教組)
の要求で!

「是枝裕和の世界」映画とトークショー

- 2月28日(土) 10:30～16:30
- フォレスト仙台2階ホール 参加費：千円
- 主催：仙台市教職員組合 (022-271-8290)

「道徳の教科化」に反対の声を!

現在、文科省がパブリックコメントを行っています。締切は3月5日。メール、ファクス、郵送で。詳しくは文科省HPをご覧ください。

「前期選抜は必要なのか」 高校入試 110 番に 33 件の相談

宮教組は2月11・12日、高教組、相談センターと共催で「高校入試 110 番」を実施しました。2日間で33件の相談が寄せられ、そのうち半数を超える18件が前期選抜への疑問や意見でした。



入試 110 番は後期選抜後の3月13・14日にも開設します。宮教組は、寄せられた意見を県教委に伝え、入試制度の改善につなげたいと考えています。

【寄せられた声】

- 前期選抜は必要なのか。後期でも落ちると二度ふるい落とされることになる。不登校や退学にもつながるのではないのか。県教委はどうしてこんな制度をつくっているのか。納得できない。
- 前期入試で不合格だった娘が、思った以上にショックを受けていてどう声をかけてよいかわからない。始めは受ければラッキーくらいの気持ちで受けたのだが、実際にはかなりショックが大きかった。こんなことなら、一回の入試でよかったのに。



- 前期選抜で落ちた。後期も同じ高校を受けるかどうか悩んでいる。(この相談が多数)

『防災副読本』県教委との確認

1月23日に県教委は「みやぎ防災教育副読本『未来へのきずな』活用について」(通知)を出しました。(仙台市を除く)

宮教組は県教委に対し「各校の独自の計画を尊重し、機械的な押し付けをしないよう」申し入れました。それに対し県教委から以下の回答がありました。

【県教委との確認】

- 活用はできる範囲でお願いしたい。計画にうまく組み入れて使用してほしい。
- 業前とか、行事の中、行事の前後での活用もよい。
- 必ず1時間でなくてもよい。
- 他の教科と抱き合わせでもよい。
- 何とか工夫して活用してほしい。
- 気仙沼や石巻のように地域で作成したものがあれば、そちらがメインで、県はサブでよい。

ストップ“戦争する国づくり” 「戦争する国にしない！させない！宮城県民集会」に参加しよう

- ◆3月7日(土)11時～12時
終了後パレード
- ◆仙台市勾当台公園市民広場
- ◆主催：「3.7宮城県民集会」
呼びかけ人会議

署名・カンパに協力を！

- ① 全国一斉学力テストの中止を求める要請署名
- ② 障害者福祉についての法制度の拡充に関する請願署名
- ③ NPT 再検討会議 in ニューヨーク代表派遣カンパ (川名直子さんを派遣)

3.11 大震災から4年

「子どもと教育を考えるつどい」

- ◎3月8日(日)13時30分～16時
- ◎フォレスト仙台4階会議室◎参加費：300円
- ◎話題提供：近藤裕美さん(野蒜小)、上西直樹さん(山元・山下中)、徳水博志さん(元雄勝小)◎主催：宮教組、研究センター、宮城の会

健康と生活を守るためにあなたも宮教組へ



病気休職者に占める精神疾患の割合が55%と高率な学校現場。宮教組は、教職員のいのちと健康、生活を守るために次のような取り組みをしています。

- ◆多忙解消・業務改善の要求(指導主事訪問の改善、余剰時数の活用、小学校専科授業の推進、部活動七者提言の推進など)
 - ◆時間外勤務解消の要求(勤務時間把握の徹底など)
 - ◆公務災害認定の支援
 - ◆メンタルヘルスを守るための様々な要求・提言(学習会の開催、健康調査の要求、公立学校共済組合運営審議会での提言など)
- あなたも、自分の健康と生活を守るために組合に加入して下さい！

組合加入書

宮城県教職員組合に加入します 名前() 学校名()

このままファクス下さい(022-274-2130) 月 日